

各種様式(案)

研究用匿名データの利用に関する申出書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

以下のとおり、研究用匿名データの利用を申し出ます。

※以下、②及び③については、本様式には概要を記載し、詳細を研究計画書（様式3）に記載して提出すること。

①提供を希望する税目・年分	税目： 年分：〇〇年から〇〇年
②研究等の名称	
③研究等の概要（内容、研究用匿名データの利用方法、作成する資料等の内容等）	
④研究等の成果の公表時期及び方法並びに発表予定の内容 ※予定しているものを全て記載。	<input type="checkbox"/> 論文（予定時期 年 月） <input type="checkbox"/> 報告書（予定時期 年 月） <input type="checkbox"/> 学会・研究会等での公表 （名称 : 予定時期 年 月） <input type="checkbox"/> その他（予定時期 年 月：具体的な公表方法） 発表予定の内容
⑤研究用匿名データの利用期間	希望する利用開始時期：〇〇年〇〇月 利用期間：利用開始日（許諾通知書の日付）より〇〇か月 ※上限2年間。
⑥その他必要な事項	

以下、⑦から⑬については、各申出者が記載し、職務経歴書（様式2）を添付して提出すること。		
⑦利用者（ <input type="checkbox"/> 代表者、 <input type="checkbox"/> 申出者、 <input type="checkbox"/> 補助者）		
(氏名)		
(所属機関名・職名)		
(住所)		〒
(電話番号)		
(電子メールアドレス)		
(補助者の監督を行う申出者の氏名)		
⑧研究用匿名データの利用場所（保管場所を含む。）		
⑨代表者の管理責任	<input type="checkbox"/> 代表者が利用開始後に管理責任者も兼ねることに了承します。	
⑩ガイドライン等の了承の有無	<input type="checkbox"/> 本申出書は、研究用匿名データの利用に係るガイドライン、研究用匿名データの利用規約及び研究用匿名データの利用に関し国税庁が事前に説明・確認した内容（ウェブサイト等で周知した内容を含む。）を了承した上で提出するものです。	
⑪所属機関		
(所属機関名)		
(所在地)		〒
(電話番号)		
(電子メールアドレス)		
(代表者又は管理者の氏名)		
⑫申出日から過去3年以内に獲得した外部研究資金の制度名、採択年度、研究課題名		
※公的機関によるものだけでなく、獲得している外部研究資金を全て記載すること。		
制度名	採択年度	研究課題名
⑬申出者の本申出書に記載された研究等の分野での過去の実績		
※公的統計の調査票情報を含むマイクロデータの利用経験の有無についても記載すること。		

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 研究用匿名データの利用者は5名を上限とすること。
- 3 本様式は応募する研究等の内容ごとに作成し、一通の申出書で複数の利用申出を行わないこと。
- 4 本様式の提出に当たっては、各申出者の職務経歴書（様式2）及び研究計画書（様式3）を添付すること。
- 5 ①から⑥の記載及び研究計画書（様式3）の添付は、代表者の申出書に行うこととして、その他の申出書については、省略することとして差し支えない。
- 6 ⑫の外部研究資金には、研究代表者又はそれ以外にかかわらず、申出日から過去3年以内に獲得しているものを全て記載し、獲得していることが分かる通知書の写し等を添付すること。
なお、外国の制度を記載した場合、名称はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載すること。
- 7 ⑬の過去の実績については、申出者の本申出書に記載された研究等の分野での過去の実績だけでなく、公的統計の調査票情報を含むマイクロデータの利用経験の有無についても記載し、利用経験がある場合はどのようなマイクロデータを利用したかも併せて記載すること。
- 8 本申出書に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

職務経歴書

(年 月 日現在)

フリガナ		
氏名		
通称名		
生年月日	年 月 日 (歳)	
現住所	〒	Tel :
		E-mail :
		携帯電話 :
緊急連絡先	〒	

学 歴					
年 月	事 項				
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
取得学位	修士	年 月	大学 修士	専攻	
	博士	年 月	大学 博士	専攻	

職 歴		
事 項		
年 月	会社 (学校名)	職務内容
年 月～ 年 月		

年 月～ 年 月		
年 月～ 現 在		

所属学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	
年 月	事 項
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

賞 罰		
事 項		
年 月 日	種 類	備 考
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

現在の職務の状況					
勤務先	職名	学部等又は 所属部局の名 称	勤務状況 (担当科目等)	常勤又は 非常勤の別	備考

研究業績について				
著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月日	発行所、発表雑誌 等 又は発表学会等の 名称、掲載頁	概要
1. 著書（学術書、教科書等） 2. 学術論文 3. その他（学会発表、翻訳等）				

上記のとおり相違ありません。
年 月 日
氏名

備考

- 1 本様式は、各申出者の研究用匿名データの利用に関する申出書（様式1）に添付して提出すること。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 3 本経歴書に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。
- 4 欄が不足している場合は、適宜追加すること。

職務経歴書の記入方法について

いずれの項目についても、欄が足りない場合には、行を追加して記入してください。

- 1 「通称名」の欄には、旧姓等を使用している場合こちらに記入し、「氏名」の欄に本名を記入してください。
- 2 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、全ての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。
なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
 - ③ 税理士、公認会計士等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。なお、外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
- 3 「職歴」の欄について
 - ① 全ての職歴（自営業、主婦、無職、出向等を含む。）を記入するとともに、職名、地位、常勤・非常勤の区別等についても明記してください。
 - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については最後の欄に記入してください。
 - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ④ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
 - ⑤ 現所属機関以外に民間企業等に所属している場合、現在所属していることが明らかになるように記入してください。
- 4 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ① 「現在所属している学会」には、本職務経歴書作成時において所属する学会の名称を記入してください。
 - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- 5 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分及び研究用匿名データの利用に係るガイドライン第11の2の規定に該当するものがある場合記入してください。
- 6 「現在の職務の状況」の欄について
 - ① 本履歴書作成時現在における職務の状況について記入してください。
 - ② 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。
それ以外の職に従事している場合は、「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「―」を記入してください。
 - ③ 「勤務状況」については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
7. 研究業績について
 - ① 「著書、学術論文等の名称」の欄には、執筆した学術書、教科書及び論文を記載し、著書を記載した場合には、ISBNを必ず記入してください。
なお、論文は、学位論文・学会誌掲載論文・紀要掲載論文等の学術論文を記入してください。また、著書及び論文以外の学会発表、翻訳等の学術活動がある場合にも記入してください。
 - ② 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称、掲載頁等」の欄は、著書を発行した出版社名、論文の発表雑誌の名称、号数及び掲載頁を記入してください。
なお、その他の学会発表については、発表学会名を記入してください。
 - ③ 「概要」の欄には、著作、論文及び学会発表等の概要を簡潔に記入してください。

研究計画書

【研究用匿名データの申出者】

所属	職名	氏名

【研究用匿名データを利用した研究等について】

研究等の名称	
研究計画内容 ※2,000字～3,000字 で記載すること。	

備考

- 1 本様式は、研究用匿名データの利用に関する申出書（様式1）に添付して提出することとし、当該申出書に記載した研究等の概要について詳細な内容が確認できるようにすること。
- 2 様式の大きさは日本工業規格A4とすること。
- 3 本様式については、代表者の研究用匿名データの利用に関する申出書（様式1）に添付して提出し、その他の申出者の研究用匿名データの利用に関する申出書（様式1）への添付は省略することとして差し支えない。
- 4 本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

研究用匿名データの利用に関する誓約書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

私は、（研究用匿名データを利用する研究等の名称を記入）のため研究用匿名データを利用するに当たり、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

記

- 1 研究用匿名データの利用規約（以下「本規約」という。）に同意し、自らの立場に応じた本規約における申出者又は利用者の義務を負担すること。
- 2 研究用匿名データの利用に関する申出書（以下「申出書」という。）及び研究用匿名データの利用に関する承諾通知書（以下「承諾通知書」という。）に記載された範囲内でのみ研究用匿名データを利用し、承諾通知書に記載のない第三者（利用者以外の者をいう。以下同じ。）の利用は行わないこと。
- 3 いかなる場合も、研究用匿名データを用いて個体を識別する分析を行わないこと。
- 4 研究用匿名データを用いた研究等の成果の公表に当たっては、税務データに関する秘密の保護及び公の秩序又は善良の風俗に反しないように十分配慮し、特定の個人等を識別するために当該データを他の情報と照合しないこと。
- 5 研究用匿名データは、研究用匿名データの利用に係るガイドライン（以下「ガイドライン」という。）及び本規約に従って適正な管理を行い、紛失・漏えい等がないようにすること。
- 6 研究用匿名データを利用することによって知り得た秘密情報については、研究用匿名データの利用終了後においても、明らかにしないこと。
- 7 本規約に違反した場合、本規約に従い貴庁が定める措置が適用されることに合意すること。
- 8 利用期限終了日までに、研究用匿名データの利用を必ず終了すること。
- 9 研究用匿名データを利用した研究等の成果を公表すること。
- 10 研究用匿名データの利用を終了した場合（当初の目的が達成できないことが判明した場合を含む。）には、ガイドライン第 10 に基づき、申出書の利用期間に記載された返却期限までに、集計等のためにハードディスク等の記憶装置に保存又は紙媒体等に出力した研究用匿名データ及び中間生成物について、専用ソフト等によって復元できないように消去又は適切に破棄すること。
- 11 研究用匿名データの利用により何らかの不利益を被ったとしても、貴庁の責任は一切問わないこと。
- 12 その他研究用匿名データの利用に際しては、貴庁の指示に従うこと。
- 13 研究用匿名データの利用に当たり、本規約に加えて貴庁が利用者に対し承諾通知書において付加した以下の条件を遵守すること。

（研究用匿名データの利用に当たっての追加条件）

[
]
]

	所属機関名	職名	氏名
(代表者)			
利用者	_____	_____	_____
利用者	_____	_____	_____
利用者	_____	_____	_____
利用者	_____	_____	_____
利用者	_____	_____	_____

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

研究用匿名データの依頼書

年 月 日

国税庁長官

殿

所属及び職名

代表者氏名

所属先住所

所属先電話番号

所属先e-mail

研究用匿名データの利用に関する承諾通知書に係る提供申出書のとおり、下記に係る匿名データの提供を依頼します。匿名データの提供を受け、当該匿名データを利用するに当たっては、日本国の法令及び研究用匿名データの利用に係るガイドライン、研究用匿名データの利用規約及び研究用匿名データの利用に関し国税庁が事前に説明・確認した内容（ウェブサイト等で周知した内容を含む。）に従って誠実にこれを履行します。なお、郵送で研究用匿名データの受取を行う場合は、受取人が当該送料を負担することに同意します。

記

1 研究用匿名データの受取に係る承諾

私は、上記の内容について理解し、研究用匿名データを受け取ることを承諾します。

2 受取方法

郵送による受取

窓口で直接受取

※1 郵送を希望される方は、依頼書提出後、14日以内を目途に送付します（送料は利用者負担）。

※2 窓口での直接受取を希望される方は、別途日程の調整を行います。

3 発送先住所（郵送による受取を選択した場合にのみ記載）

備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

研究用匿名データの受領書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

代表者

所属機関名

職名

氏名

【研究用匿名データを用いて行う研究等の名称】のため、令和 年 月 日付研究用匿名データの利用に関する申出により提供された下記の研究用匿名データを受領いたしました。

記

1. 受領年月日 令和 年 月 日

2. 受領した研究用匿名データの内容等

研究用匿名データの税目等	年分

備考

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

研究用匿名データ管理状況報告書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

管理責任者 所属機関名 _____

職名 _____

氏名 _____

令和 年 月 日付研究用匿名データの提供に係る申出書により提供を受けた研究用匿名データについて、その管理状況を下記のとおり検査しましたので、その旨報告いたします。

記

研究用匿名データを用いて行う研究等の名称	
検査年月日	令和 年 月 日
検査実施者	
検査場所	
検査状況	<p>1 利用者の範囲は適正か。</p> <p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 適正でない</p> <p>2 管理方法は適正か。(※該当するものにチェックする。)</p> <p><input type="checkbox"/> 研究用匿名データの利用場所は、施錠可能な物理的な場所に限定されるとともに、研究用匿名データの利用時に研究用匿名データの利用場所に存在する者が制限される、又は何らかの確認行為が行われるなど、利用場所への入退室管理を行っているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 研究用匿名データは限定された媒体に格納され、当該媒体が施錠可能なキャビネット等で保管されているか。また、研究用匿名データを利用する電子計算機がワイヤー等で固定されているか。さらに、利用場所から研究用匿名データが不正に持ち出されないための保安対策が図られているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 複写した研究用匿名データ及び集計作業等によって生成される中間生成物の削除、研究用匿名データ等が記録された機器等を廃棄する場合は、専用ツールを用いるなどにより復元不可能な手段で行われているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 研究用匿名データを使用する情報システムに、識別及び主体認証、スクリーンロック等の不正操作対策が図られ、利用者以外の者が研究用匿名データ及び中間生成物を保管している電子計算機にアクセスできない措置がとられているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 研究用匿名データを使用する情報システムに、コンピュータウイルス対策、セキュリティホール対策等の不正アクセス行為を防止する措置がとられているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部ネットワークに接続する可能性のある電子計算機や利用者以外の者が使用する電子計算機を利用する場合は、オフラインで集計作業等を行い、作業後は研究用匿名データ及び中間生成物を残留させない、ダウンロードやアップロードの監視を行うなど、研究用匿名データ及び中間生成物（廃棄物含む）の漏えい等事故を防止するための措置がとられているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 「研究用匿名データに係る管理簿」を用いて、利用者ごとの利用状況が記録されているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 研究用匿名データの漏えい、滅失又は毀損の発生又はその兆候を把握した場合の処理手順（直ちに被害拡大防止、二次被害や類似事案発生防止等の措置を図り、国税庁に報告する等）を定めているか。</p>
検査結果(所見)	

備考

- 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

所属等変更届出書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

管理責任者

所属機関名 _____

職名 _____

氏名 _____

令和 年 月 日研究用匿名データの利用に関する申出書につきましては、記載事項に一部変更がありましたので、以下のとおり届出をいたします。

当初申出年月日	令和 年 月 日
研究用匿名データを用いて行う研究等の名称	
変更事項	<変更前>
	<変更後>
変更理由	

備考

- 1 本様式は、国税庁が認めた利用目的、要件に影響を及ぼさないと判断される次のような変更事項に利用することとし、その他の変更については、申出書の再提出又は「記載事項変更依頼申出書」により申し出ること。
 - ① 利用者に関する申出内容（氏名等）に変更が生じた場合
 - ② 利用者の人事異動等に伴い所属機関に関する申出内容（所属機関名等）に変更が生じた場合
 - ③ 利用者を除外する場合
 - ④ 研究等の成果の公表形式を変更する場合（公表する学会誌の変更等）
 - ⑤ 研究等の成果の公表に係る手続が進行中に、利用期間の延長を希望する場合
 - ⑥ 利用場所を変更する場合
 - ⑦ その他国税庁が軽微と認めた変更が生じた場合
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
- 3 本申出書に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

記載事項変更依頼申出書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

管理責任者 所属機関名 _____
 職名 _____
 氏名 _____

令和 年 月 日付研究用匿名データの利用に関する申出書については、記載事項の一部に変更がありましたので、以下のとおり申し出ます。

なお、本申出書の提出後、変更の承諾の通知を受けるまでは、令和 年 月 日付申出書の記載内容に従って履行いたします。

当初申出年月日	令和 年 月 日
研究用匿名データを用いて行う研究等の名称	
変更事項	<変更前>
	<変更後>
変更理由	
※ 必要に応じ、変更の必要性等を証する資料を添付すること。	

備考

- 1 用紙の大きさは日本工業規格A4とすること。
- 2 本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

データ措置報告書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

管理責任者

所属機関名

職名

氏名

【研究用匿名データを用いて行う研究等の名称】のため、令和 年 月 日付研究用匿名データの利用に関する申出書により、承諾を受けた研究用匿名データの利用が終了し、集計等のためにハードディスク等の記憶装置に保存又は紙媒体等に出力した研究用匿名データ及び中間生成物について、専用ソフト等によって復元できないように消去又は適切に破棄したことを証明します。

消去・破棄年月日： 令和 年 月 日

消去・破棄方法： ○○○を利用し消去又は破棄(具体的方法を記入する)

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 本報告書に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、利用者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。

利用実績報告書

令和 年 月 日

国税庁長官

殿

管理責任者 所属機関名 _____
職名 _____
氏名 _____

令和 年 月 日付研究用匿名データの利用に関する申出書により、承諾を受けた研究用匿名データの利用による研究等が完了したので、下記のとおり報告します。

記

1. 研究等の名称

2. 研究等の実施期間

3. 研究等の成果の概要

※ 記入しきれない場合は、別紙に記載し添付する。

4. 研究等の成果の公表の取扱い

論文（名称： _____）

報告書・書籍（名称： _____）

学会・研究会等で発表（名称： _____）

その他 _____

※ 公表された上記内容について、該当部分を複写し添付すること。

※ 上記内容について、インターネット上に関連の掲載がある場合は、併せてリンク先を掲載すること。

5. 公表に当たっての留意点チェックシート

私は、研究用匿名データの成果の公表に当たって、研究用匿名データの利用に係るガイドライン第10の4に記載された基準を、研究成果物が満たしていることを確認しています。

※ 上記について、基準を満たすことを確認し、にチェックしてください。

備考

- やむを得ない理由により研究等が中断した場合など「研究等の成果の概要」が示せない場合は、該当欄に中断するまでに実施した研究等の内容を示すとともに、結果を示せない理由を記載すること。
- 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 本報告書に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、利用者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。